



ひとりの声を大切に！

高山豊彦(とよさん通信)

第17号



2023年(令和5年)冬号

発行責任者：高山豊彦 TEL/FAX：0774-78-2935

E-mail：toyohiko.takayama.3272@gmail.com

WEBサイト：https://www.komei.or.jp/km/takayama-toyohiko-wazuka/

昨年は、ロシアのウクライナ侵略や円安の影響による物価高騰など、私たちの生活も大変厳しいものとなりました。国においても物価高の負担軽減対策として、電気代をはじめとする様々な支援を含む2022年度第2次補正予算が成立し、今後、具体的な支援が進められてまいります。今号では、12月議会で決定した支援策を含む補正予算や、本町の課題等についての一般質問の内容をご報告させていただきます。

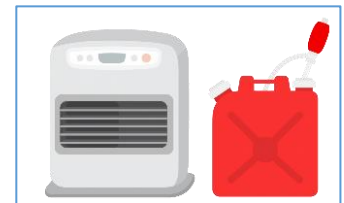


令和4年12月補正予算



◎生活支援燃料券事業・・・587万円5,000円

- ・1世帯3,000円分
- ・町内でガソリン・灯油の購入やガス代に利用できます。



◎茶源郷乗合交通生活お届け事業・・・668万円

- ・1月10日(火)～3月24日(金)まで
実証実験期間を延長
- ・乗降場所も58箇所から73箇所に増設
- ・より多くの方に利用いただけるよう、観光客等
町外の方も利用可能



◎保育園耐震及び改修事業費・・・1,622万8,000円

- ・駐車場からの渡り廊下(上屋)の新設
- ・室内空気の循環用サイクル扇の更新及び増設
- ・遮光カーテン及びカーテンレールの取換



・石寺景観前駐車場整備事業・・・・・・・・・・200万円

- ・公有財産購入費
- ・石寺景観駐車場仮設工事費





一般質問



上下水道事業の課題を問う

京都府は、上下水道事業の広域化の検討を進めており、本町での上下水道事業の耐震化や老朽化対策、また、合併浄化槽整備促進等の課題や広域化について質問しました。

《質問》 1. 下水道委員会に諮問する検討課題は

2. 下水道料金と浄化槽管理費の差額を補助する考えは
3. 簡易水道事業の広域化のメリットと課題は
4. 上下水道事業・合併浄化槽整備事業の効率化を図る取り組みは
5. 審議会を設置し下水道事業の在り方や公平性など総合的に検討する考えは
6. 京都府では下水道事業の広域化・共同化を検討されているが本町の考えは

【答弁】 1. 施設の在り方や住民負担の問題などについて諮問したい

2. 経常的な経費との関係から慎重な検討が必要、投資的な補助金も併せて検討したい
3. 有事の際の緊急対応や経営のスケールメリットがあるが、施設の多様な課題がある
4. 令和5年に出される京都府の計画に沿ったグランドデザインを作成したい
5. 負担金の問題や施設の在り方など当面の問題はご意見を十分聞き考えたい
6. 国・府などの動きも十分見定めながら検討したい

茶産業維持の取り組みを問う

基幹産業である茶農家の高齢化や後継者不足が進む中で、茶産業維持の対策について質問しました



《質問》 第5次総合計画の ” 町全体がお茶のテーマパーク ” という具体的な取り組みや、担い手不足が懸念される茶産業を維持する取り組みは

【答弁】 茶産地としてのブランド構築と生産文化の発信による観光産業の活性化を図り、町全体がひとつの茶室として「茶源郷エリア」の充実・整備を進め、後継者が育つよう努力したい

総合保健福祉施設整備計画を問う

福祉センターの解体など建設事業が進んでいる中、今後の役場周辺の全体計画について質問しました。



《質問》 1. 施設の進入路や駐車場等周辺のグランドデザインは
2. 総事業費やイメージ図の進捗状況は

【答弁】 1. 進入路は現在の西側と新たに東側に整備し、駐車場は約60台分を確保し、東側の計画が固まってから、西側の計画を立てたい
2. 建設費は約15億4000万円、イメージ図は12月26日以降に配布

妊娠から出産・子育てまでの支援を問う

国は、少子化対策としての考えを示すとともに、第2次補正予算に「妊娠から出産・子育て支援」が盛り込まれたことから、本町の考えを質問しました。

《質問》 国の交付金を活用した支援の検討は

【答弁】 妊娠期の過ごし方や出産までの見通し、出産時の手続きや産前産後のサービスの提案、育児の悩みなど、各ステージに沿った相談支援を、子育て世代包括支援センターを中心に、より身近な相談支援ができるよう考えたい

